

## 藤岡地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年8月21日（水）午後1時28分～1時57分

会 場： 栃木市役所大平総合支所

事例数： 1ケース（9月20日検討した事例の振り返り）

参加者数：10名

〔事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、傍聴者1名〕

**糖尿病・慢性腎臓病・膝痛等があり、意欲低下が見られる血糖コントロールが必要な 80 代男性。**

**〈目標〉 1日：天気の良い日は外に出て、太陽の光を浴び体を動かす。  
1年：病気を少しでも良くして元気である。**

**利用サービス：通所リハビリ**

《前回会議での支援策》

支援方針： 空腹時血糖測定等でコントロール状況を把握し、病気の理解や食事摂取方法等を本人に確認しながら、改善に繋がるように支援していく。

- ①歯科受診し、頬粘膜を噛んでしまうことやかみ合わせの相談をすると良い。
- ②丁寧な歯磨きにより、口腔内を清潔に保つことが必要。舌回し体操やブクブクうがいも効果がある。
- ③自宅で血糖測定値を記録し、医師に相談し、血糖管理をしていくと良い。
- ④糖尿病や腎不全等の病気について理解をすることが必要。

《支援結果・状況》

- ①未達成：入院前は、義歯を作り直したり定期的にクリーニングにも通っていたが、肺炎・うっ血性心不全のため2回入院した後は、体力が著しく低下したため、現在は受診できていない。
- ②未達成：2回の入院により体力及び気力も低下し、丁寧な歯磨き等はできていない。
- ③未達成：血糖測定は毎日実施しているが、自己判断でインシュリンを中止するなど、医師の指導の下に血糖管理はできていない。
- ④未達成：インシュリンを自己判断で中止したり、入院中に行われた栄養指導も体調悪化もあり、自宅で実行することが難しいことから、自身の生活に生かすまでには至っていない。